

# 西宮市スポーツ少年団軟式野球大会 規約

1. 競技ルールは、当該年度「公認野球規則」および「全軟連競技者必携・学童野球に関する事項」および下記細則にて試合を行う。ただし、使用する球場により特別規則を定める。
2. 使用球は、公認 J号を使用する。(ナイガイ J号ボール)  
※試合球は2球ずつ各団にて準備する。
3. 試合時間は80分（7回戦）で行う。時間を過ぎて新しいイニングに入らない。  
※ 決勝戦は90分にて行うものとする。  
(1) 前のイニング終了が時間内の場合は、次のイニングは終了まで行う。  
(2) 後攻チームがリードしている状況でタイムアップした場合は、タイムアップ時の打者の打席が完了した時点で試合終了として集合をかける。  
(3) 夏季の試合では本部の判断により給水タイム（5分間）を設ける。給水タイムは試合時間に含めないものとする。  
(4) コールドゲームを採用する。（3回10点差、5回7点差で成立、すべての試合に適用する。）  
(5) 7回または、80分を超えて同点の場合はタイブレーク1回を行うこととする。  
但し、結成記念大会は7回または、80分を超えて同点の場合は、抽選にて勝敗を決する。  
(6) タイブレークは決勝戦は2回までとする。  
(7) タイブレークは無死満塁で継続打順とし、前打者3名が順次塁を埋める。  
(8) タイブレークでも勝敗が決しないときは、抽選により勝敗を決する。
4. 各チームは試合開始30分前には、試合会場へ集合のこと。なお、試合開始が早くなる場合があります。前試合の進行状態を把握のうえ対応のこと。メンバー交換用紙は4部作成提出のこと。  
(本部用、交換用、審判用、自軍用)
5. メンバー交換用紙はフルネーム、ふりがなを記入すること。
6. 試合予定時間に試合の出来る状態でないチームは棄権とする。
7. 監督、コーチはチームと同一のユニフォームを着用のこと。
8. 監督、コーチともユニフォームを着用していない時は、それぞれ監督、コーチとして認めない。
9. 試合先攻、後攻を決める場合、主将と監督は同席し、グラウンドルール等について、説明をよく聞いておくこと。
10. ベンチ入りは、指導者6名（代表者、ユニフォーム着用指導者3名、スコアラー、マネージャー）と登録選手でメンバー表に記入した選手（20名）とする。  
(1) 代表者とスコアラー、マネージャーは自チームの帽子、上着はチームユニフォームと同色か白色の襟付き、グラウンドジャンパーは自チームと同等のものを着用する。  
(2) 夏季の給水補助員は2名までとし、本部の判断で許可する。
11. 用具は、J S B B公認のヘルメット（両耳付き）及びプロテクター、レガース、バットを使用すること。  
(1) 打者、走者、ベースコーチはヘルメットを着用すること。  
(2) 投球練習の際も捕手（代理の捕手を含む）は必ずマスク・ヘルメット・プロテクター・レガースを着用すること。立ったままのキャッチボールは適用外とする。  
(3) 捕手はファウルカップを着用すること。
12. 投球練習は試合初回と投手交代時は7球、途中回は3球とする。  
(1) 同一投手が同一回に再度登板する場合は3球とする。その他は主審の判断とする。  
(2) 同一投手が違う回に再登板する場合は5球とする。
13. 投手は変化球を投げることを禁止する。変化球の判断は球審判断とする。  
1度は注意し、その投球はボールとする。2度目には交替させる。以降その試合での投手は出来ない。
14. 次試合の団のブルペンでの投球練習は、メンバー表チェック終了後に前試合が4回終了時点もしくは1時間経過時点で許可する。ただし、ブルペンが1組だけしか使用できない場合は、当該試合の投球練習を優先とする。
15. 投手の投球制限については健康維持を考慮し、特別延長を含め1日7イニングまでとする。  
(1) 投球イニングに端数が生じた場合は、三分の1回（アウト一つ）未満であっても1イニング投球したものと数える。  
(2) イニングの始まりはオンザラバーの姿勢をとって球審がプレイを宣告した瞬間とする。  
(3) 同一投手が二度登板した場合は一イニングとして数える。
16. 打者は必要以外に打者席を外してはならない。（サインを見るとき等）
17. 次打者は必ず立って次打者席で待機すること。ただし、バットを振ってはならない。
18. 攻守交代は全力疾走で行うこと。

19. 本塁打の場合、他の選手がベンチを出て迎えることを禁止する。  
※ ベースコーチ、次打者と接してはならない。
20. ファウルボールは1塁側に飛んだ時は1塁側、3塁側に飛んだ時は3塁側のチームが処理すること。
21. 試合開始及び試合終了の挨拶は、両軍のベンチ指導者は起立して挨拶を交わすこと。
22. 試合終了後、両チームはグラウンド整備を行うこと。
23. 各球場は公共施設であり、ゴミは必ず各チーム持ち帰ること。
24. 次の事は禁止する。
  - (1) ベンチ入り指導者の試合中の喫煙（ベンチを出ての喫煙も含む）
  - (2) 試合を故意に遅らせること。
  - (3) グラウンド内で私服でのキャッチボール及びノックをすること。
  - (4) 応援での鳴り物（笛 太鼓、C球場でのメガホン等）の使用。
  - (5) ベンチへの携帯電話の持ち込み。
  - (6) サングラスを帽子にかけてのベンチ入り、プレー
25. ベンチへのメガホンの持込は1個までとする。
26. 指導者、選手及び応援団を含めて、著しく品位を汚し、また、審判員を誹謗する言動があった場合は没収試合とすることがある。
27. 試合中の事故については、当該チームにて処置を行うこと。
28. 指導者の選手への暴力はいかなる理由があっても絶対禁止とする。ふるった場合は当該指導者は無期限のベンチ入り禁止とする。

平成21年9月13日 制定

平成22年5月14日 改訂

平成24年3月10日 改訂（総会にて）試合球について2. を改訂、試合成立について3. 5 イニング規定を削除

平成24年5月12日 改訂（代表者会議にて）投手投球制限について16. を追記

平成24年8月4日 改訂 専門委員会にて3.（2）後攻リードでのタイムアップ時の試合終了タイミング

について、5（1）選手の追加登録について追記

平成25年3月10日 改訂（総会にて）ファウルカップ着用義務づけを追記

文部科学大臣の通達を受けて29. 選手への暴力禁止を追記

平成30年5月13日 改訂（抽選会にて）決勝戦・準決勝戦・代表決定戦の時間を90分に変更

平成31年4月1日 改訂 抗議への条文を削除

令和元年11月2日 制定 オープン大会規約を制定

令和2年5月1日 改訂 投球規定、サングラスの条文を変更（サングラス許可）